

6月県議会

政府の責任でケア労働者の賃上げと人員増、全国初訪問介護報酬の引き上げ求める請願・意見書を採択

選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書も

大雪被害、能登半島地震職員派遣等に20億円余

賃上げ支援金に2142件・1万5664人分の申請

6月県議会が6月21日から7月4日まで開かれ、大雪被害対策に17億円余、能登半島地震への応援職員等の経費2千万円余など20億円余の補正予算を可決。「政府の責任で医療・介護で働くすべての労働者の賃上げと人員増、訪問介護報酬の引き上げを求める」請願・意見書を都道府県議会では初めて採択しました。

災害対応、物価高騰対策

議案に対する質疑で能登半島地震への応援職員の実績を質しました。石川県能登町への対口支援について、事務職を中心に延べ222人を派遣し、うち今年度は延べ51人。介護職員については6月末までに延べ28人を派遣し、福祉避難所での業務に従事しています。県内市町村を含め延べ6百人余の職員を派遣しています。対口支援は5月末で完了しましたが、中長期的支援として現在、土木職9人、事務職2人など計14人の県職員を派遣。復旧の遅れが指摘されており、国の統一した支援の強化と東日本大震災津波の経験と教訓が生かされるよう求めました。

洋野町の養豚場での豚熱の防疫対策について5.5億円を措置しました。先決処分。防疫措置は7月4日に完了。1万9780頭を殺処分し埋却と消毒作業を終えました。県職員延べ4412人、建設業協会久慈支部など関係団体の職員延べ1498人が従事・協力しました。物価高騰対策賃上げ支援金は6月14日現在で2142件・1万5664人の申請となり、申請額は7億8千万円余となっています。小規模事業者の申請が69%を占めています。5月末の「事業者影響調査」では、「物価高騰の影響が継続している」が89.1%などとなっており、商工労働観光部長は「多くの中小企業は、防衛的な賃上げを余儀なくされている状況にある」と答えました。



本会議で議案に対する質疑に立つ斉藤県議(7月1日)

県民の切実な請願と意見書を採択

6月県議会に県民から提出された請願では、岩手医労連が提出した「政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、医療機関や介護施設で働くすべての労働者の賃上げや人員増を求める請願」、いわての介護を良くする会・岩手民医連・岩手社協が提出した「訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定

を早急に行うことを求める請願」と意見書が採択されました(自民党公明党が反対)。訪問介護費の引き下げ撤回を盛り込んだ意見書の可決は、都道府県議会レベルでは初めてです。昨年引き続き「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」も可決。自民党が反対しました。盛岡選挙区選出県議の主な請願

県立大船渡病院 超過勤務激減問題

6月13日、県立大船渡病院看護科の超過勤務激減問題で、小原重幸医療局長に対し、「大船渡労働基準監督署からの是正勧告と指導を踏まえ、早期の実態調査と超過勤務手当の不払い分支給を求める申し入れ」を行いました。同病院では、昨年4月に赴任した総看護師長(今年3月末で退職)による圧力で超過勤務申請が激減。大船渡労働基準監督署は3月21日付で是正勧告と指導を通知しました。その内容は、「過去11カ月に遡り労働時間記録を確認するなどの実態調査を行うこと」と「差額の割増賃金の支払いが必要な場合、当該差額を支払い、支払い状況を報告すること」、「再発防止策と実施状況を5月10日までに報告すること」などです。

労基署の指導踏まえた対応早く

事態が発生し改善できなかった原因と責任を明らかにすることなどを求めました。



小原医療局長(右)に申し入れる県議団(6月13日)

申し入れでは、実態調査等の対応が遅々として進んでおらず、調査の具体的な計画や労基署の是正勧告と指導の内容を組合や職員等にも明らかにすること、早期の超過勤務不払い分の支給、異常



岩手医労連の皆さんが医療機関や介護施設で働くすべての労働者の賃上げや人員増を求める請願を提出(6月27日)

2024年7月 No. 188

発行: 日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241

〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050

〒020-0023 盛岡市内丸10-1

県民と心ひとつに
日本共産党
斉藤 信の
県政報告

斉藤信
ホームページ
saito-shin.sakura.ne.jp



斉藤信事務所
X(旧ツイッター)
@saitoshin_iwate



達増知事が核兵器禁止条約の 批准を求める署名にサイン



7月8日、達増拓也知事が「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める署名」に都道府県知事として初めて署名しました。右は三田健二郎県被団協会長。

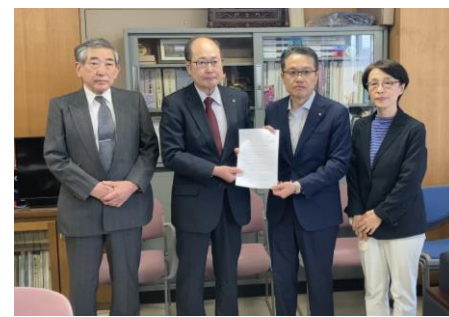
再発防止「岩手モデル」 前任校事案の調査・検証は不十分



文教委委員会で質疑に立つ斉藤県議(7月2日)

県立不来方高校バレー部員の新谷翼さんが顧問教諭の暴力・暴言により自死した事件を受けた再発防止「岩手モデル」(TSUBASAMODEL)が5月に策定されました。自死の経緯は丁寧に記述されていますが、顧問教諭の前任校での暴言・暴力事件については、被害者家族から理解解と納得が得られず、策

県立高校教育の在り方(中間まとめ)、盛岡みだけ支援学校高等部通学バス問題を質す
県立不来方高校バレー部員の新谷翼さんが顧問教諭の暴力・暴言により自死した事件を受けた再発防止「岩手モデル」(TSUBASAMODEL)が5月に策定されました。自死の経緯は丁寧に記述されていますが、顧問教諭の前任校での暴言・暴力事件については、被害者家族から理解解と納得が得られず、策定委員会の外部委員7人中5人の連名で「第三者による調査検証委員会の設置要望」が昨年提出されましたが、教育長と教育委員会が「調査検証委員会は設置しない」と回答したことは問題です。
県立高等学校教育の在り方(中間まとめ)について質問。地区別懇談会では「小規模校の教育の質の確保と機会の保障を」「魅力ある高校づくり」という意見が多く寄せられました。また、今年度は「いわて留学」の取り組みが9校32人と最高に。西和賀高校では5人の留学生を含め定員40名を超える44人が入学し、教育長は「これが複数年続けば学級数増は考える必要がある」と答弁しました。1学級校についても県教委は「可能な限り維持する方策を検討したい」と答えました。



野原保健福祉部長に要請する保険医協会と社協協の皆さん(6月19日)

切実な要望となっている県立盛岡みだけ支援学校高等部の通学バスの実現を求めました。県側は、引き続き対応する人員や経費等について整理しながら検討を続けていると答えました。
現行の健康保険証の存続を求める
6月19日、県保険医協会と社協協は、現行の健康保険証の存続を求める要請を行いました。岸田政権は国民の反対を無視して、現行の健康保険証の廃止(12月2日)とマイナ保険証への切り替えを閣議決定しました。2団体が行った高齢者施設のアンケートでは、約8割がマイナンバーカードの代理申請や施設での管理に「対応できない」と回答。マイナ保険証のトラブルは続いており、オンラインシステムでは対応できない開業医らが廃業に追い込まれる恐れがあるなどと訴えました。
県議会と9市町村議会会で現行の健康保険証存続を求める意見書を可決しています。

盛岡大附属高で模擬選挙 日本共産党は第3位の得票

7月2日、盛岡大学附属高校で国政9党の代表者が出席しての模擬選挙の授業が行われ、3年生204人が各党の演説を聞き、それぞれ共感した政党に投票しました。
日本共産党からは吉田恭子党副委員長が出席。消費税5%減税や最低賃金の全国一律時給1500円の実現をアピール。大学などの学費半額・入学金廃止について、軍事費増額分を念頭に「予算がないのではなく(現政権の)政策の優先順位が違う」と指摘し、すぐにも実現可能だと強調しました。
開票の結果、立憲民主党76票(38.4%)、日本維新の会44票(22.2%)、日本共産党38票(19.2%)と続き、自民党は6票(3.0%)で7番目の得票でした。

家畜人工授精業務 廃止への対応を
6月13日の県農業共済組合による人工授精業務の縮小・廃止に対する対策を求める県農民連の申し入れを踏まえ、高田一郎県議が取り上げました。盛岡・遠野地域の6市町における家畜人工授精業務の廃止に関して、現在328戸中109戸しか対応できておらず、畜産経営の継続のためにも人工授精業務が途絶えることのないよう対策を強く求めました。

無料法律相談
～弁護士が相談に応じます～
・8月21日(水) 午後6時～
・9月18日(水) 午後6時～
予約電話番号: 651-5881
無料生活相談
毎週土曜日 10時～12時
場所: 斉藤信事務所

6月定例県議会で採択された主な意見書に対する盛岡選挙区選出県議の態度 (賛成:○ 反対:× 欠席:欠)

案件	斉藤 信 (日本共産党)	上原康樹 (希望いわて)	小西和子 (希望いわて)	軽石義則 (希望いわて)	高橋但馬 (新政会)	吉田敬子 (新政会)	福井誠司 (自民党)	鈴木亜希子 (自民党)	高橋康介 (自民党)	小林正信 (公明党)	村上貢一 (県民クラブ)
診療報酬及び介護報酬の抜本的引き上げ等による労働者の処遇改善と医療機関や介護施設の経営改善を求める意見書	○	○	○	○	欠	○	×	×	×	×	○
計画的な教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書	○	○	○	○	欠	○	×	×	×	×	○
選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書	○	○	○	○	欠	○	×	×	×	○	○
持続可能な農業・農村の実現と食料安全保障の強化を求める意見書	×	×	×	×	欠	○	○	○	○	○	○

4月
14日 上田支部のついで、大船渡市議選応援、矢巾町のついで、城東9条の会
17日 文教委委員会は県立博物館調査
18日 脱炭素社会実現調査特別委員会、県政調査会(鈴木直弘東大教授講演)、「東アジアの平和と協力を推進するオンライン」
19日 新人議員研修会
20日 国民運動実行委員会(県政学習会)
21日 学校給食の無償化を求める岩手の会
22日 結成集会、「ふしの会総会、達増拓也知事の春暑く盛り(SUN)」
23日 学生要英字金問題等
24日 湯沢のついで
25日 岩手大学理工学部一祐会理事會
26日 学生オンラインセミナー「共産主義と自由」
27日 資本論を導き「視察」
28日 本町支部のついで、岩手後援会花見のついで
29日 盛岡市消防演習、146分団懇談会
5月
1日 第95回メーデー(岩手県中央集會、県立盛岡ひがし支援学校訪問)
2日 県中小企業中央会、中小企業家同友会訪問懇談、県立みだけ支援学校保護者懇談
3日 憲法記念日のついで、憲法記念日街頭宣伝
8日 旧盛岡短大跡地利活用期成同盟会総会
9日 地方議員オンライン交流会
10日 建設業協会盛岡支部との懇談会
11日 岩手町議員会
12日 八日町町内会総会、高橋千鶴子衆院議員と語る会、城東地区の会
16日 全県地方議員研修会、盛岡山車推進會総会、懇談会
18日 岩手大学理工学部一祐会総会、新庄観音の祭典
19日 新庄さんさ花垣会、城東地区の会18周年記念のついで
21日 文教委委員会は東北調査秋田県
6月
3日 盛岡市の国県への統一要望説明会
7日 脱炭素社会調査特別委員会調査八幡平市地勢
11日 講演、議員説明会
13日 大船渡病院超過勤務問題での医療局長への緊急申し入れ、県政要請を聞く会、農水部長への申し入れ(県農民連)、城東地区の会
16日 野原保健福祉部長に健康保険証の存続を要請(自保協、県民保健協)
21日 6月定例県議会(7月4日)
22日 高橋千鶴子衆院議員緊急街頭国会報告
24日 復興県民会議、宮古盛岡横断道路高規格化期成同盟会
26日 国道455号線道路整備期成同盟会
27日 本会議、一般質問
28日 本会議、一般質問
7月
1日 本会議、一般質問、議案に対する質疑
2日 文教委委員
3日 岩手町議選応援
4日 最終本会議、岩手町議選個人演説会
7日 女川原発講演会(オンライン)視察
達増知事が「日本政府に核兵器禁止条約の署名にサイン」